

2023年2月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条 402-1 TEL：0470-22-8132 FAX：0470-22-0097
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/awa/fukuudayori.html>
 発行：千葉県安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



安房地域耕畜連携連絡会議の様子

安房地域の 耕畜連携の検討

～関係者が一堂に会する
場づくりから～

近年の米価低迷、飼料価格・資材高騰の影響で、水稲農家は主食用米以外の所得確保を模索し、畜産農家の自給飼料に対する需要はかつてない程に高まっています。生産者等から要望もあり、関係者で情報共有、連携を図るために11月11日に当事務所主催で令和4年度安房地域耕畜連携連絡会議を開催しました。

会議では水稲農家、畜産農家、コントラクター、JA、酪農協、各市町担当者が集まり、稲WCSの品質向上への取組、料金設定の事例等情報共有し、安房地域でのあり方について検討しました。検討は始まったばかりですが、安房地域の耕畜連携のしくみづくりに向け、支援を行っていきます。

肥料価格

高騰対策について

低コスト化に資する技術

肥料、特に化学合成肥料については、その原料の多くを海外に依存していることから、昨今の国際情勢の変化を受け、価格が高騰している状況です。そこで、農業生産のコストの低減のため、減肥につながる取組の例を三点紹介します。

一点目は、土壌診断です。特に施設栽培ほ場において、肥料等の資材の連用によって土壌に特定の養分が蓄積した例が見られます。定期的に土壌診断を行い、その結果を基にして過剰な養分の施用を抑えることで、肥料の低減と土壌の健全化を図りましょう。二点目は、緑肥の活用です。間作として栽培することで、土壌に残存した養分の流亡を防げます。すき込みを行うと土壌中に有機物が供給され、保肥力の向上が期待できます。例えば、ソルガムは生育量に

優れ、草丈150cmですき込むと10a当たり約4.5kg分の窒素肥料を削減できます。目的に合った緑肥を選びましょう。

三点目は、堆肥の活用です。家畜ふん堆肥は、養分供給の効果をある程度有しますが、畜種ごとに性質が異なります。例えば、鶏ふん堆肥は窒素の肥効率が高い一方で、リンや石灰を多く含むため、過剰に投入しないよう注意します。

当事務所では、今後も適正施肥や減肥に係る技術指導を行い、コスト低減を推進していきます。これらの技術の詳細は、当事務所改良普及課までお問い合わせください。



簡易土壌分析講習会の様子

栽培環境の見える化でカーネーションの

収量・品質アップ

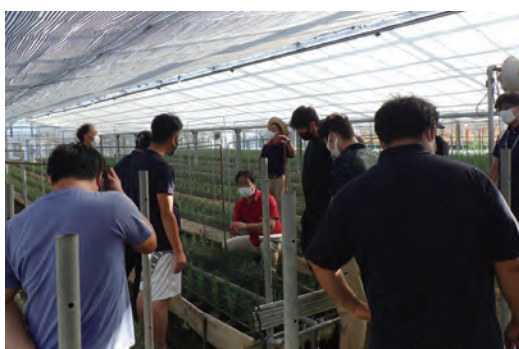
カーネーションは6〜7月に定植し、10月から6月まで収穫する長期栽培品目なので、季節と生育ステージに応じた栽培管理が必要です。近年、栽培施設の環境をモニタリングする機器が普及し、経験に基づく管理に加えて、データによる栽培管理の判断ができるようになってきました。

富浦カーネーション研究会では、機器類の導入を進め、環境制御技術に詳しいコンサルタントを迎えて勉強会を開催しています。農業事務所は勉強会の運営を支援し、どのような管理がカーネーションにとって最適なのか、研究会員と一緒に検討しています。たとえば、1〜2月の日射量は10〜11月と同等ですが、外気温が低いため日平均気温を低く管理しがちなので、収量が低下してしまいます。そ

ここで、日中の気温を確保するとともに、夜間の気温を適切に維持し、日射量に応じたかん水を行った結果、収量を増やすことができました。

一方で、生育初期は高温で生育が抑制されたり、土壌病害が発生しやすいので、積極的に遮光して過剰な温度上昇を防いでいます。

環境制御技術は主に野菜類で検討され、発展してきました。カーネーション経営にどのように活用するのが良いのか、今後も検討を重ね、地域への普及を図ります。



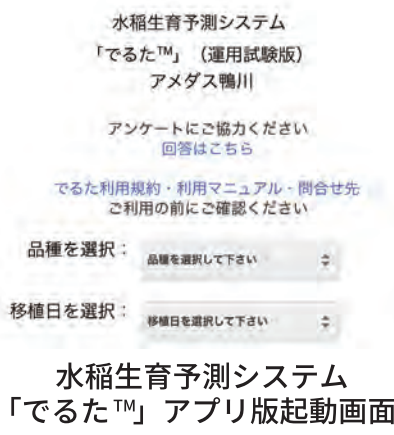
栽培について論議は尽きません

「でるた™」で水稻の生育を予測して適期作業を!

近年は集中的な豪雨が発生したり、極端な寡照や多照が増加する等、異常気象が増え、水稲栽培において、これまでの経験や勘では生育予測や作業適期の判断が難しくなっています。

千葉県では、品種、移植日及びアメダスデータから水稻の出穂期を予測し、そこから追肥や斑点米カメムシ類対策の作業適期を計算する水稻生育予測システム「でるた™」を開発しています。令和5年度から本格運用が予定されているので、御紹介します。

「でるた™」では、実際のアメダスデータを用いて毎日更新されるため、その年の気象条件に合った生育予測と追肥やカメムシ防除時期等の作業適期が分かります。現在、生育予測が可能な品種は、「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」、「粒すけ」、「アキ



ヒカリ」及び「夢あおば」の6品種です。安房地域では鴨川のアメダス地点の一覧表又はアプリ版を用います。一覧表では4月1日から6月30日までの移植日に対応した生育予測を品種ごとに表示します。また、アプリ版では品種と移植日を選択するだけで、生育予測や各種作業の適期が表示されます。水稻の安定生産を図るため、「でるた™」を是非ご活用ください。

和牛オリンピックへ出品

第12回全国和牛能力共進会が令和4年10月6日から10日まで鹿児島県で開催されました。この大会は全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集めて改良の成果やその優秀性を競うもので、「和牛のオリンピック」とも称されます。全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、各道府県の和牛ブランド力の向上につながるから、最も重要な大会となっています。

今回、千葉県からは3頭の牛が出品され、25年ぶり2回目の参加となりました。安房地域からは「高校及び農業大学校の区」で安房拓心高等学校から1頭、「去勢肥育牛の区」で鴨川市の(株)高梨牧場から1頭が出品され、安房拓心高等学校は24校中優等賞9席、



安房拓心高等学校、審査会場にて

高梨牧場は1等賞の評価を得ました。この結果は高校生の日頃のトレーニングや近隣農家との連携、高梨牧場の肥育技術の高さが評価されたものであり、5年後の北海道大会に向け、更なる活躍が期待されます。

指導農業者 農業士 紹介

地域の農業後継者の育成に
取り組む農業者を指導農業者、
地域農業をけん引する青年農
業者を農業士として、それぞ
れ知事が認証しています。
今回新たに指導農業者1名、
農業士2名の方が認証されま
したので御紹介します。

本年度の指導農業者士認証者

山田 一洋氏(南房総市)



経営規模
20ha以上の水
稲経営体(農
かざぐるまの
代表で高密度

播種苗等の省力化技術や、直
進アシスト田植機等のスマー
ト農業技術を取り入れること
で、コストの削減や作業の効
率化を図っています。また、
地元小学生の農業体験も受け
入れています。

本年度の農業士認証者 井月 晃氏(館山市)



冬はレタス、
夏はトウモロ
コシ、さやい
んげんを露地
栽培していま

す。レタス栽培では、従来の
トンネル被覆よりも省力的な
べたがけ栽培を取り入れてい
ます。

石井 俊輔氏(南房総市)



飼料用米を
中心にWCS
用稲、ソルガ
ム等飼料作物
を栽培してい

ます。鶏ふんたい肥や牛ふん
たい肥を使用するとともに高
密度播種苗技術を導入し、コ
ストの削減に努めています。
また、令和3年に法人化し、
経営と人材確保の安定を図っ
ています。

安房農業奨励賞 安房農業奨励賞

受賞者の紹介

安房農林業振興協議会では
安房地域の農林業振興に功績
のあった方を表彰しています。
表彰者は、農林業の生産性の
向上や地域農林業の振興に貢
献した方々を市町長が推薦し、
審査を経て決定しています。

令和4年12月2日、鋸南町
中央公民館で「令和4年度安
房農業賞表彰式」が行われ、
7名の方が表彰されました。

安房農業賞

畠山 正美氏(館山市)

鴨川七里を育てる会(鴨川市)

※代表 飯田 哲夫氏

尾形 茂氏(南房総市)

鈴木 良一氏(鋸南町)

安房農業奨励賞

櫻井 一行氏(館山市)

藤平 友和氏(鴨川市)

青木 良平氏(南房総市)

令和5年度

農業経営体育成セミナー 新規受講者募集

安房地域で新規に就農した
45歳以下の農業者を対象とし
たセミナーを開催します。

毎月1〜2回程度の講義、
実習、視察研修及び受講生同
士の相互訪問等により、農業
経営に関する知識や技術につ
いて3年間かけて段階的に学
ぶカリキュラムです。また、
仲間づくりのきっかけにも
なっています。

令和4年度は29名の方が受
講しています。

近隣の市町で農業に取り組
む仲間と交流しながら楽しく
学んでみませんか。

5月下旬の開講に向けて、
やる気のある新規受講者を募
集しています。

お問い合わせ・申し込みは
当事務所まで御連絡ください。
また、お近くの若手農業者
にも是非お知らせください。